



Miyadai Shinji

宮台真司

Soda Kazuhiro

想田和弘

Imai Hajime

今井 一

[9条・解釈改憲]にどう対峙するのか 8.16 公開討論会

安倍政権が強引に進める「集団的自衛権の行使容認」
憲法が壊され、立憲主義、国民主権が侵されていく
私たちは主権者として何をなすべきか、何ができるのか デモ？ 集会？ 選挙？ 国民投票？

憲政と平和の危機、9条・解釈改憲にどう対峙するのか
意見を異にする気鋭の3人が、本音で語りぶつかり合います

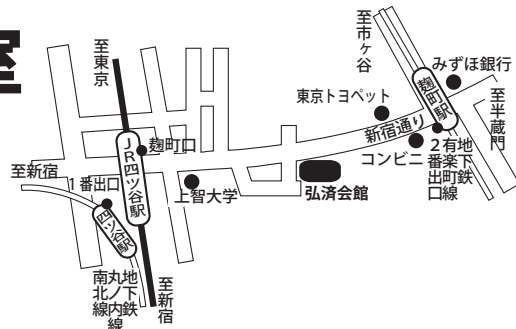
戦争の放棄と国際平和主義を謳った憲法9条を、国政の根本に据えなおすために
安倍政権の暴走を許している民主主義の危機と不在を、足元から再構築するために
真に有益な議論を交わす場へ あなたのご参加を！

8月16日(土) 14:30 ~ 17:00 (開場 14:00)

弘済会館 4階会議室

JR中央線・総武線「四ッ谷駅」麴町出口徒歩5分
地下鉄丸ノ内線・南北線「四ッ谷駅」1番出口徒歩5分

参加費 / 1000円



みやだい・しんじ●社会学者。映画批評家。首都大学東京教授。1959年仙台市生まれ。京都市で育つ。東京大学大学院社会学研究科修士課程修了。同博士課程修了。社会学博士。権力論、国家論、宗教論、性愛論、犯罪論、教育論、外交論、文化論などの分野で単著20冊、共著を含めると100冊の著書がある。近著に、『14歳からの社会学』『<世界>はそもそもデタラメである』『私たちはどこから来て、どこへ行くのか』など。

そうだ・かずひろ●映画作家。1970年足利市生まれ。東京大学文学部卒。スクール・オブ・ビジュアルアーツ映画学科卒。93年からニューヨーク在住。NHKなどのドキュメンタリー番組を手がけた後、ナレーションなどを排した「観察映画」と呼ぶドキュメンタリーの方法を提唱・実践。その第1弾『選挙』(07年)は世界200カ国でTV放映され、米国でピーボディ賞、ベオグラード国際ドキュメンタリー映画祭でグランプリ受賞。他に『精神』『Peace』など。著書に『なぜ僕はドキュメンタリーを撮るのか』『日本人は民主主義を捨てたがっているのか?』など。

いまい・はじめ●ジャーナリスト。[国民投票/住民投票]情報室事務局長。1954年大阪市生まれ。学生時代の専攻は哲学、研究テーマは「自由論」。ポーランドに独立自治労組「連帯」が誕生した81年以降、ソ連・東欧取材を重ね、政治的・市民的自由を制限された民衆が主権者として立ち上がっていく現場を見届ける。96年以降は新潟県巻町、沖縄県名護市など各地でまき起こった住民投票を現地取材。89年『CZESC(チェシチ)！ーうねるポーランドへ』で、ノンフィクション朝日ジャーナル大賞。近著に『憲法9条 国民投票』がある。

■主催 (連絡、問合せ) / 東京・生活者ネットワーク

新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASKビル 5F TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
tokyo@seikatsusha.net URL http://www.seikatsusha.me/